

広

報

こうさ



【表紙】子どもたちが子育て支援住宅の復興シンボルを制作体験

五輪ロゴ制作の野老さんの教室開催

CONTENTS

- 02・特集 地域活性化および地方創生推進に関する連携協定を締結
- 08・こうさの話題 郡消防大会で岩下が優勝
- 13・町からのお知らせ 国民年金の追納制度について
- 16・あゆみだより 命を支えるための献血にご協力ください
- 24・Kosa Style ALT・プレストンさん・エリンさん夫妻 (岩下一区)

No.590

September 2018

9

地域の将来を思い、活力にあふれる元気なまちへ

甲佐の魅力が広がるまちづくり

町では、空き家や自然などの地域の資源の有効活用を通して、移住・定住の促進や交流人口の増加を図り地域の活性化につなげていくため、さまざまな事業に取り組んでいます。7月31日(火)「甲佐町に

おける歴史的資源を活用した地域活性化および地方創生推進に関する連携協定」の締結により、本町の地域活性化に向けた事業や活動の輪がより一層広がっていくことが期待されます。

■地域活性化および地方創生推進に関する連携協定を6者で締結

7月31日(火) 町役場で、「甲佐町における歴史的資源を活用した地域活性化及び地方創生推進に関する連携協定」の締結式が行われました。



▲町役場で行われた連携協定式

同協定は、本町に存在する空き家や





甲佐町
奥名 克美 町長

平成20年をピークに国全体の人口が減少に転じ、甲佐町においても近年は人口の減少傾向が続いています。そこで、町は平成27年に「甲佐町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。「戦略」での政策目標の1つである「新しい『ひと』の流れによる交流人口の拡大と定住促進」を達成するために、空き家など地域の資源の有効活用を通して、移住・定住の促進や交流人口の増加を図り、地域の活性化につなげていくため、さまざまな

■ **空き家などの地域の資源を有効活用した町の地方創生**
自然などの地域の資源を活用し、街並み整備や観光振興などに関する取り組みを連携して行うことで、町の交流人口を増やし、地域活性化および地方創生の推進に寄与することを目的として、株式会社NOTE（藤原岳史代表取締役社長・兵庫県）、一般社団法人パレット（大滝祐輔代表理事）、医療法人谷田会谷田病院（谷田理一郎理事長）、株式会社肥後銀行（笠原慶久頭取）、甲佐町商工会（中村幸男会長）の6者で締結されました。

■ **旧西村民俗資料館を再生して本町の魅力を集めた拠点施設に**
その1つに、本町の魅力を集めた交流拠点施設を整備するため、旧西村民俗資料館利活用事業を実施しています。仁田子にある旧西村邸は、民俗資料館として利用していましたが、一昨年の熊本地震で被災しました。この事業では、昨年度は「甲佐町古民家こうさ



株式会社NOTE
藤原 岳史 代表取締役社長

事業に取り組んでいます。



- 交流人口の増加を促して地域の活性化を図る企画を考えた「甲佐町古民家こうさてんプロジェクト」
- スポーツを通じた本町の交流人口の増加、町全体の活性化を目的とする「緑川スポーツフェスタ in こうさ」
- 商店街の活性化や町内外をはじめとした若者などの交流などを目的とする「甲佐蚤（のみ）の市」
- 普段とは一風変わった楽しみ方でやな場の魅力を発信した「やな遊び2018夏」

■ **移住・定住を促進するために「甲佐町空き家バンク」を開設**
空き家などの既存の資源を活用し、移住・定住施策の充実を図るため、6月に「甲佐町空き家バンク」を制度化しました。この制度は、町内にある賃貸または売買ができる空き家や空き店舗などを所有者が物件登録して、本町

てんプロジェクト」と題して町内外の若者をはじめとする延べ200人でのワークショップ9回を開催し、同館を利活用するアイデアを企画しました。施設にはカフェやワークショップなどが開催可能なスペースを整備し、宿泊施設を備える予定です。今年度からはワークショップによる改修を実施し、2020年度に施設のオープンを目指しています。



このような取り組みを展開する中で迎えた今回の協定の締結に、奥名克美町長は、「町としても地方創生の総合戦略の一環として捉え、6者でともに連携を強化して展開していきたい」と話しました。



一般社団法人パレット
大滝 祐輔 代表理事

への移住や町内での商業などの開業のために空き家などの利用を希望する皆さんに対して、登録した物件情報を町公式ウェブサイトなどで紹介する仕組みです。

地域の将来を思い、活力にあふれる元気なまちへ

古民家再生で交流づくり

■甲佐町の地域資源、歴史的資源を宝物と捉えてまちづくりを

株式会社NOTE（兵庫県）は、日

本の歴史的建築物の価値最大化と活用における収益化を通じ、次世代へ継承することを基本理念に設立。兵庫県篠山市などでの空き家再生事業で数多くの実績があります。藤原代表取締役社長は「株式会社NOTEは、『空き家を活用してまちづくりをおこなっていただく』と生まれた会社です。今回、甲佐町の若手経営者の皆さんとお会いして正直感動しました。甲佐町の地域資源、歴史的資源もさることながら、地域自身が持っているコミュニティや繋がりを大事にしている町なんだと感じました。空き家を『負の遺産』としてではなく『地域の宝物』もしくは資源ととらえて、一緒にまちづくりを行っていききたい」と抱負を語りました。

ポーツや文化活動を通して町民が幸せを感じられるような地域づくりを推進することを目的に、4月に設立されました。また、同法人が中心となって6月に発足した「甲佐町まちづくり協議会」では、地域の古民家などを活用し



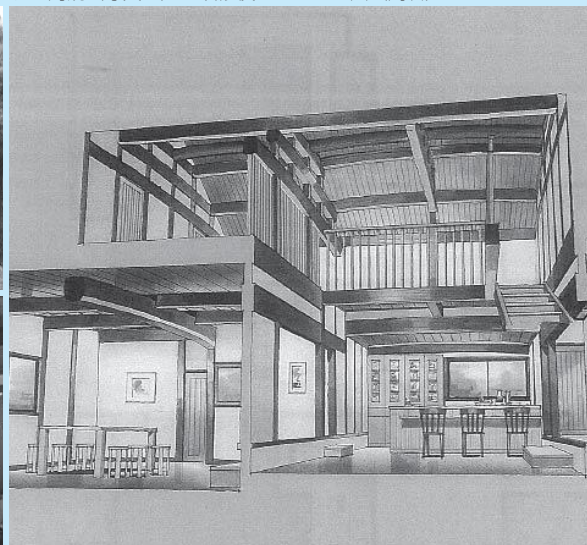
株式会社肥後銀行
荒川 浩二 執行役員地域振興部長

株式会社肥後銀行の荒川執行役員地域振興部長は「緑川ややな場などに人を呼び込むための仕組みなどで、地方創生のお手伝いをしていきたい」と話し、甲佐町商工会の中村会長は「商工業の皆さんに今回の協定についても説明しながら、商工業が興るようなことをやっていきたい」と話しました。



甲佐町商工会
中村 幸男 会長

▼旧西村民俗資料館の改修前の外観および内観（写真左）と改修後のイメージ図（同右）



■子どもから高齢者までの人づくりで地域活性化

一般社団法人パレットは、本町の交流人口の増加による地域経済の循環を通じた持続可能なまちづくりおよびス

た農泊推進事業などに取り組み、地域資源を活用した地域活性化を実現するための活動を行っていきます。大滝代表理事は「子どもたちから高齢者まで、スポーツや文化活動を通して人づくりおよび地域づくりを行っていききたい。熊本地震で被害を受けた甲佐町の民間からも創造的復興ができれば」と抱負を話しました。

■地域活性化に向けて広がる活動の輪

医療法人谷田会谷田病院の谷田理事



医療法人谷田会谷田病院
谷田 理一郎 理事長

奥名町長は、「今回の提携を機に、さらなる本町の地域活性化に向けて活動の輪が広がっていくことを大いに期待しています」と話しました。

長は「甲佐の健康寿命を伸ばすには、色んな人とのつながりやコミュニケーションが大事。町の皆さんが気軽に相談できるまちの保健室のようなものができれば」と話しました。



▲甲佐町住まいの復興拠点施設の完成後のイメージ図。図の右側手前は災害公営住宅、子育て支援住宅は左側奥の3階建ての建物

子育て支援住宅は来年夏に完成予定

熊本地震からの創造的な復興や本町の活性化のシンボルとして

●震災からの復興拠点として本町の発展を目指す

町では、将来を見据えさらなる発展を目指す指針として策定された「甲佐町震災復興計画」に基づき、震災からの創造的復興や町活性化のシンボルとして、甲佐地区に災害公営住宅、子育て支援住宅および防災公園などの一体的な整備を進めています。

8月9日（木）、子育て支援住宅の建設について、業者と契約を締結しました。

●住戸数20戸、子育てサロンとして集會室を建設

子育て支援住宅の構造は、鉄筋コンクリート造、地上3階建て、建築面積が841・24平方メートル。住戸数が2LDK 20戸、子育てサロンとして集會室を建設します。

住戸別の床面積は、75・85平方メートルタイプと73・88平方メートルタイプがあります。

プライバシーを十分に確保しながら、子育て世代同士の

交流を促し、立ち話など気軽にできる広い玄関土間や共用廊下を備えます。1階エレベーターに隣接した集會室は

開放的な出入り口により立ち寄りやすい空間、畳の小あがりスペースを設け、小さな子どもや学校帰りの児童・生徒などが過ごしやすいような空間となります。

●各部屋を見通しができる位置にキッチンを設置

部屋の特徴は、カウンター形式のキッチンから玄関および各部屋を見通しができることで子どもの見守りができます。部屋の間仕切りは可動式で、必要に応じて続き間にするなど使い勝手の良い設計となっています。

子育て支援住宅は、来年夏の完成を予定しています。入居時期や募集要項などは、決まり次第お知らせします。

▼お問い合わせ先
町建設課

☎096・234・1183
(内線161・162)

町内の若者が大舞台で競い合い、躍動

国際大会や全国大会、九州大会に出場

馬場登久選手・男子サッカー

(有安区・甲佐小5年)

8月2日(木)～6日(月)タイで行われた第1回キアタニー国際サッカーナメントU12大会に、ウエストジャパンセレクトのメンバーとして出場しました。

大会を終えて馬場選手は「どんな



相手でも抜けるようにもつとドリブルを磨きたいです」と今後の抱負を話しました。

田上廉太郎選手・男子サッカー

(横田区・甲佐中3年)

8月15日(水)～24日(金)北海道で行われた第33回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会に、ソレツ熊本のメンバーとして出場しました。

田上選手は「相手チームの選手と



比べて、自分の力はまだまだでした。毎日の練習をがんばりたいです」と話しました。

久米桃選手・女子サッカー

(麻生原区・甲佐中1年)

7月21日(土)～28日(土)大阪府で行われた第23回全日本U-15女子サッカー選手権大会に、益城ルネサンス熊本FCのメンバーとして出場しました。

「途中出場でしたが、自分ができることをがむ



しゃらにプレイしようと思いましたが」と今後の抱負を話しました。

田上大翔選手・競泳

(下横田区・ルーテル高3年)

8月17日(金)～20日(月)愛知県で行われた平成30年度全国高等学校総合体育大会の競泳種目に出場しました。

田上選手は4×100メートルフリー



レーと4×200メートルフリーに出場。出場の「全国の選手たちと競うことができ、いい経験になりました」と話しました。

重永泰希選手(北早川区・甲佐中3年)
多々良晃希選手(吉田区・甲佐中2年)
・男子野球

7月25日(水)～30日(月)北海道で行われた北海道連盟創立45周年記念全国選抜野球大会に、熊本東リトルシニアのメンバーとして出場し、重永選手(写真右)が1番遊撃手として先発出場。



「練習を重ね、高校野球へつなげたいです」と抱負を話しました。

吉永紅良羅選手・女子野球

(八丁区・甲佐高3年)

8月4日(土)～9日(木)愛媛県で行われた第14回全日本女子硬式野球選手権大会に熊本ファンジークのメンバーとして出場しました。

吉永選手は9番遊撃手として先発



出場。「ほかのチームの選手に比べて自分はまだまだなので、努力したいです」と大会の感想を話しました。

乙女タイガース・少年野球

8月17日(金)～20日(月)福岡県で行われた第26回九州選抜学童軟式野球大会に乙女タイガースのメンバーとして佐藤芳成選手(和田内区・乙女小6年)、川口大夢選手(緑町区・甲佐小6年)、井本旺佑選手(田原区・乙女小2年)、坂下勝聖選手(世持区・乙女小2年)、山田泰雅選手(和田内区・乙女小2年)、金守珠右選手(船津区・乙女小1年)が出場し、チームは3位に輝きました。

2番遊撃手として出場した川口選手は、準決勝で4打数2安打1盗塁の活躍を見せ、チームをけん引。大会後、



「九州大会は、県大会とは相手チームの雰囲気の違いがありました。課題を練習で改善していきたいです」と話しました。

台湾の中高生と国際交流を深める

国際化社会に対応できる人材を育成

8月7日（火）～10日（金）台湾台南市の中
高生が国際交流で本町を訪れました。

自然や文化など、生活習慣の違う環境の中での
交流事業を通して国際化社会に対応できる人

材を育成していくことを目的として、甲佐町国
際交流協会が平成27年度から台南市の土城高級
中学校との相互交流を実施しており、今年度は
台湾から来町。本町の中高生などと交流しました。



上：正法寺での茶道体験

下：歓迎式での空手の演技



台南市の中学生・高校生6人と引率
の教師など総勢18人が、町生涯学習
センターで行われた歓迎式に出席し、
本町の中高生と対面。オープニングで
空手・勇誠塾の演技が行われた後、甲
佐町国際交流協会会長の蔵田勇治教育
長が歓迎のあいさつを述べ、本町の交
流生徒を代表して牛島由貴さん（緑町
区・甲佐中3年）が「日本の伝統を学
び、台湾に広めてください」とあいさ
つ。記念品の贈呈やお互いの自己紹介
などが行われました。

参加者は、有安の正法寺で茶道を体
験し、やな場や甲佐神社を見学。また、
阿蘇市波野でのそば打ち体験などで友
情を育むとともに、ホームステイで生
徒や家族との交流を深めました。

ますます外国に 興味がわきました

伊豆野 智也さん
（横田区・九州学院高2年）

海外の人と交流できる機会はな
かなかないと思ったので、参加し
ました。

日本語が伝わらないので、コ
ミュニケーションをとることが難
しかったです。楽しい思い出を作
ることができ、この4日間の出来
事は、一生忘れることのない大切
な経験になりました。そして、ま
すます外国に興味がわきました。



▲伊豆野さん（中央左）と荒瀬さん（同
右）。ホームステイでは流しそうめんや
花火などを一緒に楽しみました。

●お問い合わせ先

町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447

積極的にコミュニケー ションをとりたい

荒瀬 洲水さん
（東寒野区・御船高2年）

去年台湾へ行ったので、今年は
迎える側として参加したいと思い、
応募しました。

短い間でしたが、学ぶことはお
互いに多かったと思います。いか
にコミュニケーションがとれるか
で大きく変わるので、どんな人
でも積極的にコミュニケーションを
とって、仲良く楽しくしていきたい
と思いました。



▼消防大会のポンプ車の部で優勝した第1分団第4部（岩下）の6人



第1分団第4部（岩下）が優勝

平成30年度上益城郡消防大会

7月28日（土）有安の安津橋健康広場横のヘリポートで平成30年度上益城郡消防大会が開催されました。

同大会は、郡内各町消防団の消防操法技術の向上と団結の強化を目的に、熊本県消防協会上益城郡支部（荒木泰臣支部長）が主催し、今年度は2年に1度の操法競技が行われました。

町消防団（松尾憲親団長460人）からは、小型ポンプの部に第1分団第6部（緑町）と第4分団第8部（府領）、ポンプ車の部に第1分団第4部（岩下）と第1分団第7部（北部）が参加しました。

ポンプ車の部で参加した第1分団第4部（指揮者・米原雄二さん、1番員・米角良真さん、2番員・甲斐敬大さん、3番員・大瀧啓司さん、4番員・岩崎雅和さん、補員・米村真さん）が見事に優勝し、9月2日（日）に山鹿市で開催される県大会へ郡代表として出場します。

自然に触れて心を豊かに

野外キャンプ「あつまれ子どもたち」

8月16日（木）～17日（金）坂谷の川平キャンプ場で、「あつまれ子どもたち」が開催されました。

同イベントは、野外体験を通して自然に親しむとともに、共同生活に取り組むことで団体行動の大切さを考えてもらうことを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克美会長）と町教育委員会が主催。町内の小・中学生25人が参加しました。

子どもたちは1泊2日の体験学習で、川遊びやそうめん流しを楽しみました。



▲手作りの竹はしと竹筒でそうめん流しを楽しむ子どもたち



◀旧校舎を活用したカフェで食事する来場者

宮内で「夏山カフェ」が開催

旧校舎を活かした手作りの食事処

7月29日（日）宮内地区社会教育センター（旧宮内小学校）で、「夏山カフェ」が開催されました。

旧校舎を活かした手作りのカフェを、NPO法人自然楽舎みやうち（境国嗣理事長）の「パワフル母ちゃん」（栗林尚子代表）が企画。畑で朝採りした野菜を使った手作りのカレーやかき氷などが販売され、家族連れなどでにぎわいました。

来場者は食事を味わったり、元氣な「母ちゃん」たちとの会話を楽しんだりしました。訪れた若い女性たちは「子どものころに戻ったようで懐かしかったです」と話しました。

緑川流域の魅力を発信

7月29日（日）緑川フェスタが開催

7月29日（日）嘉島町の高田みんなの広場で「緑川フェスタ」が開催されました。

同イベントは、より良い緑川流域づくりについて議論することを目的として、流域自治体、県、国土交通省などから構成される緑川流域会議（田中洋丞会長）が主催。

会場では、「龍の舞・龍神太鼓保存会」（宮澄安一会長）などの各流域自治体のパフォーマンスが披露。流域のグルメが並んだ「緑川うまいもの市」では、「こうさんもん」認定商品も出店され、多くの人でにぎわいました。



▲会場で開かれた緑川うまいもの市には「こうさんもん」も出店



▲赤ちゃんや保護者と交流する生徒たち

子育ての楽しさと大変さを学ぶ

甲佐中生徒が乳幼児と触れ合い体験

8月3日（金）町総合保健福祉センターで、「ハローBaby」が開催されました。

同イベントは、思春期の中学生が赤ちゃんとの触れ合いを通して、子育ての楽しさ・大変さ、命の尊さを学ぶことを目的に、同センターが主催。甲佐中学校（服部起明校長230人）の生徒17人が参加し、赤ちゃんに関する学習と触れ合い体験などを行いました。

同センターの保健師の指導で赤ちゃん人形を使って抱っこなどを実習した後、「ピカピカ1歳教室」に合流。乳幼児と触れ合ったり、身体測定などを手伝ったりしました。

復興支援であゆまつりをサポート

甲府第一高（山梨県）の生徒9人が来町



▲復興支援ボランティアとして山梨県から来町し、あゆまつりの運営をサポートした甲府第一高の生徒たち

7月21日（土）開催の第67回あゆまつりに、甲府第一高（山梨県）の2年生9人が復興支援ボランティアとして参加しました。

同校生徒は、熊本地震からの復興に携わりたいとの思いから被災地の夏祭りの運営ボランティア参加を計画し、同校同窓会の基金を活用して来町。ボランティア活動を始めるにあたり、奥名克美町長が「熊本地震から2年が経つ今、運営をサポートしていただきありがとうございます。甲佐町とあゆまつりを楽しんで、夏の思い出にしてください」とあいさつしました。

生徒たちは、子どもみこしの進路案内やアユのつかみどりの受け付けなどの運営を汗だくになりながらサポート。総盆踊り大会には甲佐高校の生徒たちと一緒に参加し、甲佐の夏祭りを楽しみました。

ボランティアに参加した竹下珠生さんは「あゆまつりに参加して、いろいろな人と触れ合うことができました。今回学んだことを多くの人に伝えていきたいです」と話しました。



▼満員の会場で落語を披露する林家きく磨さん



林家きく磨さんによる落語会

町生涯学習センター自主文化事業

8月24日(金) 町生涯学習センターで、「林家きく磨落語会」が開催されました。

同イベントは、町生涯学習センター自主文化事業の1つで、地域の文化的活性化を目的として町教育委員会が主催。

林家きく磨さんは落語家として2010年に真打に昇進し、現在は「くまもと大好き大使」としても活躍。きく磨さんが本町で落語会を開催するのは昨年の震災復興落語会に続き2回目で、会場に駆け付けた約120人の観客を前に落語を披露し、会場は大きな笑いで包まれました。

「母の生まれ故郷で再び落語会ができ、うれしく思います」と語ったきく磨さん。復興が進む本町へ向けて「日々の生活の中で楽しいことを見つけ、笑顔で過ごしてください」とエールを送りました。

落語を鑑賞した観客は「楽しかったです。落語を身近に感じられました」と笑顔で話しました。

災害時の行動を考える

災害図上訓練を実施

8月5日(日) 町生涯学習センターで、災害図上訓練が行われました。

同訓練は、町民の防災意識向上を目的として町が主催し、一般財団法人消防防災科学センターの協力で開催。同センターの図上訓練指導員である鈴木光さん、森義徳さん、奥村聡一さんを講師に迎え、各区の自主防災組織などから36人が参加しました。

参加者は6班に分かれ、地域の危険箇所や避難場所を地図上に書き込みながら災害時の行動を考えるグループワークを行いました。



▲地図上に危険箇所などを書き込み対応を検討する参加者たち



◀「甲佐町未来塾」で英語の授業を受ける生徒

地域の協力で中学生の学力向上

甲佐中で「甲佐町未来塾」が開塾

8月1日(水) 甲佐中学校で、「甲佐町未来塾」が開塾しました。

同塾は、地域の中学生の学力および教育力の向上を図ることを目的として開塾。教員を希望する大学生や元教員、学習塾などの民間教育事業者の幅広い協力を得て、同中(服部起明校長230人)の生徒に学習機会を提供するために町教育委員会が主催し、今年で3年目。

学習支援の調整役を担うコーディネーターを中心として、大学生や元職員などで構成される学習指導員と学校が連携しながら、数学と英語の2教科に取り組みました。

歯の健康を学ぶ

小・中学校保健委員が子育て相談を見学

8月24日（金）町総合保健福祉センターで、町内の各小・中学校の保健委員30人が「すくすく2歳児子育て相談」を見学しました。

同イベントは、各校の養護教諭などで構成される甲佐町学校保健会（岩下勇治会長）が子どもたちが歯の健康について学ぶことを目的に初めて開催されました。

同センターの保健師や管理栄養士、歯科衛生士が2歳児の歯磨きや食事の取り方などについて保護者に指導するのを見学し、歯の健康について学びました。



▲2歳児の食事と栄養指導を見学する保健委員の子どもたち



▲町生涯学習センターで開催された上映会

郷土芸能を後世に引き継ぐ

甲佐町郷土芸能上映会を開催

8月26日（日）町生涯学習センターで、甲佐町郷土芸能上映会が開催されました。

上映会では、後継者不足が懸念される郷土芸能を後世に受け継ぐことを目的に平成26年度に撮影された映像を公開。「糸田の大綱引き」「北早川の獅子舞」「旧宮内小学校と現甲佐小学校のボンドラ」「山出の獅子舞」「仁田子の雨乞太鼓」「龍野の龍神太鼓と龍の舞」の6つが上映され、来場した約50人が郷土の伝統芸能を鑑賞しました。

参加者は「町内にこのような芸能があるとは知りませんでした。これからも長く続くことを願います」と感想を述べました。

復興シンボルを作ろう

五輪エンブレム制作の野老さんによる教室開催



▲学生のサポートを受けながら、「人」の形をした木製のパーツを組み合わせて復興のエンブレムを制作する子どもたち

8月23日（木）町生涯学習センターで、震災復興のシンボルとなる「エンブレム」制作の体験教室が開催されました。

同イベントは甲佐地区災害公営住宅をはじめとする「甲佐町住まいの復興拠点施設」に掲げる復興のシンボルを作ろうと、日本財団わがまち基金と協働して芝浦工業大学（東京都）とKASEI（九州建築学生仮設住宅環境改善）プロジェクトが主催。講師に東京五輪公式エンブレムのデザインを手掛けた野老朝雄さんを招き、町内の小学生38人が同プロジェクトで活動する県立大学などの学生約40人と、「人」の形をした木製のパーツを組み合わせて復興エンブレムの制作を体験しました。

野老さんは「甲佐町のいいところを探して、甲佐町をイメージするロゴを作りましょう」と呼び掛け、子どもたちは緑川やアユなどを思い思いにデザインしエンブレムを制作。人の繋がりをイメージしたロゴを制作した龍野小6年の菊地こころさん（下横田区）は、「作っているうちに色々思い浮かんできて楽しかったです」と話しました。

国民健康保険

■医療費の一部負担金の減額、
免除および徴収猶予制度

国民健康保険には、災害などの特別な理由により生活が一時的に苦しくなり医療費の支払いが困難となった世帯に対し、申請により入院などに係る自己負担額を減額、免除または徴収猶予する制度があります。

国民健康保険被保険者が、次の理由のいずれかに該当し医療機関などの窓口で支払う医療費の一部負担金の支払いがどうしても困難な場合は、基準に沿って一部負担金の減額、免除や徴収猶予を一定期間に限り受けることができます。

●一部負担金の減額などを受けられる理由

- ①震災、風水害、火災、その他これらに類する災害により死亡もしくは障がい者となったとき、または資産に重大な損害を受けたとき
- ②干ばつ、冷害、凍霜害などによる農作物の不作、不漁、その他これらに類する理由により収入が著しく減少したとき
- ③事業または業務の休廃止、失業などにより収入が著しく減少し

たとき
④①～④に掲げる事由に類する事由があったとき

●減額、免除および徴収猶予の基準

- ・免除
実収入月額が、基準生活費の1・1倍以下の場合
 - ・7割減額
実収入月額が、基準生活費の1・1倍を超え1・15倍以下の場合
 - ・4割減額
実収入月額が、基準生活費の1・15倍を超え1・2倍以下の場合
 - ・徴収猶予
実収入月額が、基準生活費の1・2倍を超え1・3倍以下の場合
 - ※実収入月額とは、生活保護法の規定による保護の要否判定に用いられる収入認定額
 - ※基準生活費とは、生活保護法による保護基準に規定する基準生活費
- これらは、療養の給付を受けようとする前に申請により審議し決定します。期間は減額および免除が原則3カ月以内、徴収猶予が6カ月以内です。
- 詳しくは、町住民生活課にお問い合わせください。

国民健康保険

■ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品のことを「後発医薬品」という呼び方をします。それに対して新薬のことを「先発医薬品」と呼びますが、この新薬の特許が切れた後に販売される医薬品であるため「後発医薬品」というのです。後から販売されるようになって、新薬と同じ有効成分・用法用量で、同等の効果を持つようにつくられています。

■ジェネリック医薬品が新薬よりも価格が安い理由は？

新薬を開発するには莫大な費用がかかりますが、その新薬は、20～25年の特許期間は開発メーカーが独占的に製造することができず。しかし、この特許期間が過ぎ

るとほかのメーカーも同じ成分の薬を製造することができず。開発の費用がかからない分、ジェネリック医薬品の価格は新薬の2～7割ほどのものが多くなっています。

■なぜ、ジェネリック医薬品を推奨するのですか？

高齢化が進み今後も医療費が伸びていくことが予想されており、皆さんの医療費の負担も増えていくこととなります。ジェネリック医薬品を使うことで自分自身の費用負担が減ると同時に国民健康保険財政への負担も減らすことができます。

保険で負担する医療費を抑えることは、それに必要な国保税はもちろんだ、県、町の税金の負担を抑えることにつながります。

■どうすればジェネリック医薬品を利用できますか？

ジェネリック医薬品の処方希望する場合は、医師の処方せんが必要です。まずはかかりつけの医師や薬剤師にご相談ください。被保険者証と一緒に「ジェネリック医薬品希望カード」を配布していますので、ぜひご利用ください。

ジェネリック医薬品で
医療費を節約しましょう



詳しくは町住民生活課へお問い合わせください

国民年金

国民年金の追納制度をご利用ください



詳しくは町住民生活課にお問い合わせください

■保険料を追納すると年金の受取額を増やすことができます

国民年金保険料の免除、納付猶予、学生納付特例の承認を受けた期間がある場合、保険料を全額納めた場合と比べ、65歳から受けられる老齢基礎年金の受け取り額が少なくなります。

しかし、免除などの承認を受けた期間の保険料については、10年以内であればさかのぼって納めることができる追納制度があり、将来受け取る老齢基礎年金額を増やすことができます。

また、社会保険料控除により、所得税・住民税が軽減されます。該当する期間がある場合には、保険料を追納されることをお勧めします。

■追納制度を活用して保険料を納められる場合の注意点

追納制度を活用して保険料を納められる場合には、次の5点にご注意ください。

- ① 詳しくは、熊本東年金事務所へお問い合わせください。
- ② 保険料の追納を行う場合には、年金事務所への事前の申し込みが必要です。
- ③ 年金機構から発行される納付書によりお支払いができます（口座振替やクレジットカード納付はできません）。
- ④ 承認された期間のうち、原則として古い月の保険料から納付することになります。
- ⑤ 一部免除（半額、4分の1、4分の3）を受けた期間は、納付すべき保険料を納めていなければ、追納することはできません。

承認を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降に追納をする場合、当時の保険料額に一の加算額が上乗せされますので、早めの追納をお勧めします。

▼お問い合わせ先

熊本東年金事務所
☎096-367-8144

町住民生活課 ☎096-234-1113（内線104）

税

■滞納者宅の捜索による動産の差押えを実施

税金は、町にとって大切な財源であり、納税は国民の義務です。町税の収入率が下がれば、町の収入が減りさまざまな行政サービスの低下につながります。

町では、納期内に納付する人との公平性を図るためにも、町税の滞納者に対し差押えを実施しています。

■公売会の開催のお知らせ

税負担の公平性や自主財源確保の観点から、町税などの滞納処分として、差し押さえた不動産について、公売を実施します。

▼公売物件

- ① 売却区分番号 F 18-1

差押不動産の公売会を開催します



詳しくは町税務課にお問い合わせください

不動産（土地）

- 甲佐町大字南三箇字八幡127番1田 1,305平方呎
- 甲佐町大字南三箇字八幡127番2田 145平方呎
- 見積額 320,000円
（最低公売価格）
- ② 売却区分番号 F 18-2
不動産（土地）
甲佐町大字南三箇字八幡130番田 876平方呎
- 見積額 190,000円
（最低公売価格）

▼入札期間

10月24日（水）～10月26日（金）

▼入札時間

午前9時から午後5時まで

（10月26日（金）は午後1時まで）

▼入札場所

町役場庁舎1階 税務課

▼注意事項

入札に参加するためには、9月25日（火）までに町農業委員会に買受適格証明書の提出が必要です。買受適格証明書がありませんと入札に参加できませんので十分注意してください。

物件に関する詳しい内容や入札に関する手続きなどについては、町税務課までお問い合わせください。

町税務課 ☎096-234-1112（内線113）

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

■日時 9月13日(木)

午前10時30分

■会場 図書室おはなしのへや

宇宙から大地へ。新たな戦いの幕が上がる
池井戸 潤著 / 『下町ロケット ゴースト』

小学館

小説

幾多の困難を、熱き思いと諦めない姿勢で切り抜けてきた、東京都大田区の町工場「佃製作所」だが、またしても予期せぬトラブルにより窮地に陥ってしまう。そこで社長の佃が下した意外な決断とは。大きな挫折を味わってもなお、前に進もうとする者たちの不屈の闘志とプライドが胸を打つ、大人気シリーズ第3弾です。

ワクワクする冒険ファンタジーの世界へ
クリス・コルファー著 / 『願いをかなえる呪文』

平凡社

児童書

12歳の双子の兄妹アレックスとコニーは、ある日、おばあちゃんにもらった絵本の中に吸い込まれてしまった。そこはおとぎ話の「めでたしめでたし」の後の世界。2人は元の世界に戻るため、「願いをかなえる呪文」を探し冒険に出る。シンデレラ、白雪姫、赤ずきんなどのその後の世界を駆け巡るドキドキ、ワクワクのお話です。

オリンピックに生涯をささげた男
李代 哲雄著 / 『評伝 田畑政治』

国書刊行会

一般書

2019年NHK大河ドラマ「いだてん」の主人公の1人である田畑政治。戦前・戦後と日本のスポーツ界の発展に尽力し、1964年の東京オリンピック招致を成功に導きました。その田畑の目的に向かって一直線に突っ走る熱い生きざまを、かつて自ら語った原稿を元に、最も身近に接してきた著者が描いた、読み応えのある1冊です。

新しい料理生活を提案するレシピ本
小林 まさみ著 / 『切りおき』

小学館

教養娯楽

包丁・まな板を使うのは週に2回だけ。ポリ袋を使った新しい料理生活をご提案。1週間分の晩ごはんの献立と、食材の買い物リスト、切りおきの段取り、レシピをワンセットにして紹介。「毎日の料理に煩わされたくない。でも家族には手作りの出来たてを食べさせたい」と思っている方へ、ぜひ、役立てていただきたい1冊です。

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

中 学生の頃、読書好きの友達がよく読んでいたこの本。この本に出会ってから本の魅力に気づかされ、有川浩さんをはじめとする多くの作家の本を読むようになりました。

まず初めに読み進めていて抱いた感想は、ストレートに『面白い』でした。図書館戦争をはじめとする有川さんの本は社会問題もテーマに入っています。

今月の案内人



早崎 泰晟さん
(早川区)

しかしそれを感じさせないテンポの良さはすごい一言でした。

例えばこの図書館戦争では、表

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『図書館戦争』(有川 浩著)

舞台は2019年の架空日本。図書隊員に憧れて図書隊入隊を志した少女・笠原郁。メディアの自由を巡る人々の戦いを通し、郁の成長と恋愛を描く。

現の自由という問題が取り上げられています。それだけだと重くなってしまう話を主人公の恋や仲間とのかけひきなどで感じさせず面白い物語になっており、楽しみながら考える事が出来ます。

このシリーズは全4巻で構成されており、何度読み返しても飽きが来ません。また映画化もされているので、楽しみも増えると思います。読書嫌いな方で

も読みやすい本だと思うので、ぜひ読んでみてください。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

町公民館主催講座 本の読み聞かせ

7月31日(火) 町生涯学習センター図書室で、「子ども講座」で本の読み聞かせを開催しました。参加者は放課後児童クラブ「ひまわりクラブ」の児童20人。児童は社会見学のため、



▲本の世界に引き込まれて真剣に聞く児童たち

▶町生涯学習講座のお知らせ

「IT講習会」受講生募集

9月～10月にかけて、IT講習会を開催します。日程などの詳細は町教育委員会にお問い合わせください。

●講座内容

- ①はじめてのパソコン
全6回 受講料2,000円
- ②Wordの基礎と文書作成
全6回 受講料2,000円
- ③Excel 基礎から中級
全9回 受講料3,000円
- ④楽しいスマホとタブレット入門
全3回 受講料1,500円

●会場

町生涯学習センター視聴覚室

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

バスに乗り、同センターに到着。始めに、読み手の小屋敷京子さんと「ろうそくのうた」を一緒に歌い、お

話を聞く態勢に入ります。パタパタと動くカード、果物の断面図を見て楽しむ「くだものなんだ」などの絵本を読み、大型絵本、パネルシアターなど、子どもたちは本の世界に入り込み、真剣な表情を見せました。最後に、たくさんの児童が「本に興味を持ったので、図書室に通います」と話しました。

町公民館出前講座 大腸がんについて

8月21日(火) 上揚公民館で、出前講座を開催しました。

大腸肛門病センター高野病院患者支援センターの日隈忍さんを講師に迎え、「大腸がん早期発見のため」をテーマに、最近のが

んの現状や、検診の必要性、大腸がんの検診の方法などを詳しく学びました。参加者は15人。



▲大腸がんの早期発見について行われた上揚区の出前講座

日隈さんは、「現在、日本人は一生涯のうち2人に1人が『がん』にかかっています。元気で長生きするには、早期発見・早期治療が健康寿命を延ばします。毎年検査受診をされることをおすすめします」と話されました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■平成30年度第40回学校人権教育部会課題別研修会を開催

7月31日(火) 甲佐小学校で、学校人権教育部会課題別研修会が開催されました。

同研修会は、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けすべての町教職員の基本的認識を深めることを目的に、甲佐町学校人権教育部会(松田秀喜会長)が開催。講演会と4つの分科会で実施し、町内の保育園の保育士や学校の教職員など112人が参加しました。

講演会では、講師の元小学校教

諭・島田宏さんが「足を運ぶことから。そして、そこに生まれるものを大切に」と題して講演。島田さんは菊池市の菊之池小学校から教員生活をスタートされ、今年3月末で退職されました。



▶講師の島田さん

島田さんは、「部落問題を知り、わたしを『同和』教育・人権教育へと向かわせた人々との出会いについ

て語ります。あなたご自身の体験を振り返りながら聞いていただければ幸いです」と話され、大学生活で出会った友人のことから自身の親との葛藤などを話されました。

参加者からは、「その時その時の出会いを大切にしながら1つ1つ足を運び、人の心に働き掛ける行動と思いが心に残りました。講演をされながら何度も流される涙の奥に、強い思いを感じ私も人の心に働き掛け、自分も学んでいくことができるようなつながりや出会い、人権教育を大切にしたいと思いました」と感想が寄せられました。

献血は大切ないのちを救う 素晴らしい行動です

◆献血についてご存知ですか

血液は「血漿（けっしょう）と
いう液体成分」と、「赤血球・白
血球・血小板などの血球」でき
ています。献血とは、この血液を
誰かに分けることです。

血液は生きている細胞で構成さ
れているため、人工的に作るこ
とができません。そのため、現在、
医療機関で使用されるすべての血
液は、献血によって確保されてい
ます。

献血には種類があり、血液のす
べての成分を採血する「全血献血」
と、血液中の血小板や血漿（けっ
しょう）だけを採血する「成分献
血」があります。

献血された血液は、病気の治療
や手術などで血液が必要な人に使
われます。ただし、血液には生き
ている細胞が入っているため、長
期の保存はできません。また、献
血された血液を輸血に使用できる
期間も決まっています。

◆命を支えるための献血

1日当たり全国で約3,000
人、1年間で約120万人の命が
輸血によって救われています。そ
して、この命を支えるために1日
当たり約1万4,000人、1年
間で約525万人の献血が必要で
す。24時間365日、いつでも医
療機関に血液を届けるために、多
くの人の協力が必要です。

●献血の種類と対象年齢・体重

項目	全血献血		成分献血	
	200ミリリットル	400ミリリットル	血漿	血小板
年齢※	16～69歳	男性 17～69歳 女性 18～69歳	18～69歳	男性 18～69歳 女性 18～54歳
体重	男性	50kg以上	45kg以上	
	女性		40kg以上	

※65歳以上の人の献血については、献血する人の健康を考慮して60～64歳の間に献血経験がある人に限られます。

●献血をしている方の状況

献血者の約7割が30代から50代までの方で構成され、10代は5割、20代は18割ほどと若年層の献血が少ない傾向が続いています。

さらに実献血者のうち、献血回数が年間1回の人は約68割を占めています。全血献血の基準では、男性は年に3回、女性は年に2回献血ができます（全血献血と成分献血では、次回までの期間が異なります）が、1回のみの人が多い現状です。

●献血はだれでもできるの？

献血は16歳から69歳までの方はご協力いただけます。ただし、献血で確保する血液の量や、献血の種類によってそれぞれ異なりますので確認が必要です。

また、年齢とともに、体重も一定量以上が必要になります。

◆10月11日（木）町役場での献血にご協力ください

献血は、日赤プラザ献血ルーム（熊本市東区長嶺）や下通り献血ルーム（熊本市中央区）の各献血ルーム、献血バスで可能です。

甲佐町でも年間4回、町役場においても年に3回実施しており、町内でも献血が可能です。

10月11日（木）午後1時～4時
町役場で献血にご協力ください。

献血の話 あゆみだより

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
岩永 一寿 社会福祉士

大切なひとを救ってくれるのは、だれかの善意かもしれません。また、献血を行うことで、だれかの大切なひとを救うことにつながるかもしれません。全血献血は約40分で終わります。ぜひ献血にご協力ください。

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



赤星 ^{れんげ}蓮華ちゃん (2歳)
^{あかり}明莉ちゃん (11か月)

父・慧真さん 母・美紗さん
(有安区)

おじいちゃん、おばあちゃん、
だいすき♡

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
☎096-235-8711

9・10月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

9月20日(木) 午前9時

10月18日(木) 午前9時

+ 7か月児健診

9月20日(木) 午前10時

10月18日(木) 午前10時

+ ピカピカ1歳教室

10月5日(金) 午前9時30分

+ 1歳6か月児健診

9月11日(火) 午後1時

+ すくすく2歳児子育て相談

10月19日(金) 午前9時30分

+ 3歳児健診

9月11日(火) 午後1時20分

Child-Care

9月の子育て支援カレンダー

○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 若草保育園 ☎096-234-0013

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 竜野保育園 ☎096-234-0519

12日(水) お誕生会(予定)

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 乙女保育園 ☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 緑川保育所 ☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 甲佐町子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305

3日(月)	人形遊び
5日(水)	戸外遊び
7日(金)	陶芸教室(予定)(要予約)
10日(月)	親子で読書
12日(水)	お誕生会(予定)(要予約)
14日(金)	散歩
19日(水)	おやつ作り(蒸しパン)
21日(金)	牛乳パックで製作
26日(水)	製作
28日(金)	ままごと遊び

育児相談(電話・面接)
月～金曜日 午前9時30分～午後4時

体験保育
月・水・金曜日 午前9時30分～正午

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先

- ・町総合保健福祉センター
- ・町地域包括支援センター
(町総合保健福祉センター内)

☎096-235-8711

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。



お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会
(町生涯学習センター)
☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家
(社)甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合
(クリーンセンター)
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111 (代表)
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111 (代表)

町からのお知らせについては、詳しくは町公式サイトをご覧ください。
URL <https://www.town.kosa.kumamoto.jp/>

①お知らせ

平成30年住宅・土地統計調査を実施します

町では、平成30年住宅・土地統計調査を実施します。

この調査は、平成30年10月1日現在のわが国の住宅に関する実態ならびに現住居以外の住宅および土地の保有状況や住宅などに居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を明らかにすることを目的としており、統計法に基づいて行う国の重要な統計調査です。調査結果は、国や地方公共団体、大学、民間など、それぞれの分野において、住宅や土地に関する基礎資料として活用されます。

調査は、県下5万9、000の住戸・世帯を対象とし、各指定調査区の中から無作為抽出にて選ばれた住戸・

世帯を対象として調査を行います。9月から調査員が対象の世帯におうかがいして調査票の配布や回収などを行います。また、インターネットでの回答も可能です。

なお、調査票の内容は、統計法によって厳重に保護されておりですので、安心してご記入ください。

調査に関するお問い合わせ先は、左記の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

▼お問い合わせ先
町企画課
☎096-234-1115

米粉料理の講師を派遣します

県では、家庭での県産地米粉利用拡大を図るため、44人のくまもと米粉インストラクターを任命しています。

米粉料理を習いたいグループに、県が任命した米粉インストラクターを派遣します。

▼募集定員
10グループ

▼申し込み期限
9月28日(金)

▼依頼方法
事務局へご連絡ください。

日時、会場、参加人数、メニューなどを打ち合わせます。

▼実施期間
10月1日(月)～平成31年2月28日(木)

▼申し込み・お問い合わせ先
県米粉料理講習会事務局
☎096-355-3381

無料登記相談所の開設について

熊本地方方法務局では、無料の登記相談所を開設します。倒壊した建物の登記に関する相談や土地・建物などの売買・贈与・相続などの登記に関する相談について、熊本地方

方法務局職員が対応します。お気軽にご相談ください。なお、相談には事前の予約が必要です。

▼開設日時
11月8日(木) 午前10時～午後4時(正午から午後1時までを除きます)

▼会場
御船町役場分庁舎2階小会議室

▼お問い合わせ先
熊本地方方法務局
☎096-364-2145

職権による建物取り壊し登記作業について

熊本地方方法務局では、平成28年熊本地震によって倒壊などした建物について、被災された方々の建物取壊しの登記申請の負担軽減を図るとともに、被災地の速やかな復興のため、県内の被災地域において、所有者の申請によらずに登記官の職権で建物取壊しの登記を行ってききましたが、取

doctor

日曜当番医

月日	当番医	電話番号
9月2日	谷田病院	☎096-234-1248
9月9日	小屋迫医院	☎096-234-0165
9月16日	荒瀬病院	☎096-234-1161
9月23日	谷田病院	☎096-234-1248
9月30日	甲佐眼科クリニック	☎096-235-5600

tax

町税などの滞納処分(7月分)

種別	件数・金額など
捜索	1件
差し押さえ件数	1件
交付要求	0件
取立・公売代金	215,035円

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第60回～

「鹿里(かざと)の暮らし その3」 清村一男 町文化財保護委員 (下豊内区)

2、その他の現金収入

・牛の子の出荷

牛を養い、子を産ませて育て、競り市(せりいち)に出して現金を得た。

・くず粉作り

葛の根からはくず粉が採れる。良質の澱粉(でんぷん)である。葛の根 50kg から 5kg のくず粉が採れたと話された。町部の菓子屋さんが買い付けに来られた。

・漢方薬の原料

ドクダミ、ゲンノウショウコなどを採り、乾燥させたものや、腐食した松の木の中にある、からいもの大きさ程の養分の塊は、漢方薬の原料として町部の薬店や医者買い付けに来られた。

3、住まい

・竹瓦の屋根

孟宗竹(もうそうだけ)を半分

に割り、節(ふし)を採り、それを交互に組み合わせて屋根とした。

・杉や檜の皮ぶきの屋根

倒した杉や檜の皮を剥いで乾燥させて、それを重ねて屋根にした。

4、まとめ

今、山の頂まで植林された山々が広がるが、奥山に暮らす人々の辛苦(しんく)の結晶に思われる。人里離れた地域での生活は、結局その地域の特性を活かしたということによって成り立っていたということに尽きる。



竹瓦と皮ぶきの屋根

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課

☎ 096-234-2447 (内線 322)

壊しの登記が残っている可能性があります。
 登記されている建物で、登記の全部が公費解体などにより取り壊されたにもかかわらず、未だ取壊しの登記がされていない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

▼申請期限
 12月28日(金)

▼お問い合わせ先
 熊本地方務局復興事業対

■職権による取壊しの登記の対象とならない建物
 ・建物の破損・解体が一部分である場合
 ・1つの登記記録に2棟以上の建物が存在し、その全ての建物が解体などされていない場合

策室
 ☎ 096-364-2221

熊本人権子ども集会のお知らせ
 人権子ども集会は、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくし、人権が共存する人権尊重社会の実現を目指して行われる集会です。県内に在住

する児童生徒および教育関係者などが参加し、子ども実行委員の運営により、体験・活動報告などが行われます。入場は無料で、申し込みも不要です。皆様のご来場をお待ちしています。

▼開催日時
 10月13日(土) 午前10時～正午

▼会場
 パークドーム熊本

▼お問い合わせ先
 県人権同和教育課
 ☎ 096-333-2702

ジョブカフェ上益城では、就職を希望される方のお仕事探しのお手伝いをいたします。ご利用は無料です。ぜひご利用ください。

・就職に関する相談
 ・履歴書や職務経歴書作成の個別アドバイス
 ・面接練習
 ・保護者からの相談 など

▼利用時間
 月曜～金曜日 午前10時～午後5時(予約制)

▼お問い合わせ先
 ジョブカフェ上益城
 (上益城地域振興局内)
 ☎ 096-282-1013

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量 (7月分)

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	221,530	17,740	△19,120
資源ごみ	25,690	3,080	△650
粗大ごみ	5,130	510	540
合計	252,350	21,330	△19,230

traffic safety

事件・事故件数

種別	発生件数	
	7月	年累計
人身事故	1	9
物損事故	15	118
盗難など	1	6

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	0	(△2)
原野	0	(0)
その他	1	(△3)
合計件数	1	(△5)

※単位・千

7月31日現在

8月15日現在 (カッコ内は前年比較)

募集

**熊本市町村職員共済組合
職員採用試験を実施します**

熊本市町村職員共済組合では、平成30年度職員採用試験を次のとおり実施します。

▼試験の種類

一般事務（1人程度）

▼第1次試験日

10月21日（日）

※第2次試験日については、

第1次試験合格者に別途通知します。

▼募集期限

9月14日（金）

試験の詳細や申し込み方法などは、熊本市町村職員共済組合までお問い合わせください。

▼お問い合わせ先

熊本市町村職員共済組合

TEL 096-365-1900

**農業大学校新規就農支援
研修生を募集します**

県農業大学校では、就農に必要な栽培技術や経営のノウハウを基礎から学べる農業研修を実施しています。詳しくは左記までご連絡ください。

▼研修カリキュラム

①プロ経営者コース

・研修期間 4月～翌年3月（週5日）

・定員 10人

・対象者 本格的な農業経営を目指す方（就農時45歳未満）

②実践農業コース

・研修期間 4月～12月（週3日）

・定員 40人

・対象者 農産物販売や農業で生計を立てることを目指す方（原則63歳以下）

▼出願期間

前期募集 9月18日（火）

・前期募集 9月18日（火）

・前期募集 9月18日（火）

・前期募集 9月18日（火）

・前期募集 9月18日（火）

・前期募集 9月18日（火）

・前期募集 9月18日（火）

Event

10月6日（土）・7日（日）甲佐蚤（のみ）の市を開催します！

今年で6回目となる甲佐蚤の市。毎年10月第1日曜に行われてきたこのイベントが今年初の2日間開催となりました。町内外から出店

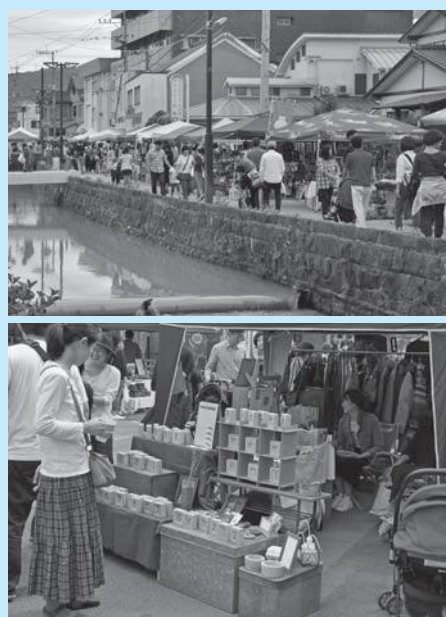
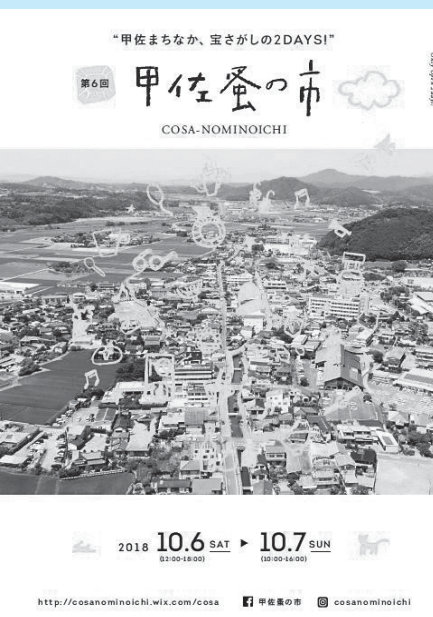
される店舗には手作り雑貨やアンティーク家具などのさまざまな物品が並びます。甲佐の秋の催しへぜひお越しください。

■開催日 10月6日（土）12時～18時
7日（日）10時～16時（雨天決行・荒天中止）

■会場 甲佐町商店街一帯

■駐車場 甲佐小学校グラウンド、甲佐町商工会、甲佐町役場

■お問い合わせ先 甲佐蚤の市 実行委員会
TEL 096-234-0272 URL <http://cosanominoinchi.wix.com/cosa>



甲佐町総合型地域スポーツクラブ
「I・YOU スポーツクラブ」
9月のアユスポ・カレンダー



陶芸教室

陶芸教室の参加者のみなさん
楽しかったです♪

●スポンジテニス&
バドミントン

甲佐小体育館
月曜日 午後7時30分

●少年柔道
甲佐中武道館「甲心館」
月・水・金曜日 午後7時

●卓球
町生涯学習センター・ホール
水・金曜日 午後7時30分

●サッカー教室
甲佐中グラウンド
火・木・金曜日 午後7時
甲佐小グラウンド
土・日曜日 午前9時

●バスケットボール教室
甲佐中体育館
火曜日 午後8時

●ジュニアバスケット教室
乙女小体育館
水曜日 午後7時

●ノルディックウォーキング
教室
白旗小体育館
月曜日 午後7時

●トランポリン教室
特別養護老人ホーム 桜の丘
金曜日 午後5時30分

●女子サッカー教室
甲佐中グラウンド
水曜日 午後7時30分

■お問い合わせ先
I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)
TEL 096-234-2447(内線325)

西日本豪雨の被災地を支援



▲被災家屋の被害調査を行う西口消防係長（左）

西日本豪雨の被災地である愛媛県宇和島市に対して、本町が人的支援を行いました。この取り組みは熊本県の自治体が行うもので、町は被災自治体の業務を支援するために総務課の西口貴志消防係長を1週間派遣しました。被災者の生活再建の基礎となる被害家屋調査を支援した西口係長は「熊本地震での経験を活かして迅速な活動ができました」と活動を振り返りました。本町は熊本地震の際に愛媛県の人的支援を受けていることから、今後も可能な限り支援を行う予定です。

ご支援ありがとうございます

ふるさと甲佐 応援寄附金

ふるさと納税のお礼の品として贈呈している本町の特産品ブランド「こうさんもん」を紹介します。



「うなぎ蒲焼き」こうさんもん No.13
緑川水系の地下水で育てた鱒の蒲焼き
▶甲佐養鰻場 ☎096-285-3452

- ▶ご寄付いただいた皆様
お名前 住所
- ・井芹 俊郎様 奈良県
 - ・緒方まゆ美様 熊本市
 - ・関根 史様 埼玉県
 - ・相生チカ子様 兵庫県
 - ・佐藤 稔様 沖縄県
- ほか33名様

▶平成30年度寄附金額合計
2,870,000円
(7月31日現在)

■お問い合わせ先
町地域振興課
☎096-234-1154 (内線235)

障がいのある方を対象とした職業訓練生を募集します
県立高等技術専門学校では、
☎096-3333-2537

▼お問い合せ先
県建築課
9月25日(火)
▼募集期間
9月25日(火)
▼お問い合わせ先
県建築課
☎096-3333-2537

第23回くまもとアートポリ
ス推進賞作品を募集します
県では、県内の建築文化に
対する関心を高めるため、県
内各地の優れた建造物などを
表彰する「くまもとアートポ
リス推進賞」を実施しており、
今年も作品を募集します。ご
応募をお待ちしています。

10月29日(月)
後期募集 平成31年1月7日
(月)～1月28日(月)
お問い合わせ先
県農業大学校研修部
☎096-248-6600

▼募集期間
9月28日(金)
▼訓練期間
11月1日(木)～平成31年
1月31日(木)(3カ月間)

Word・Excel・P
owerPointを基礎か
ら学び、就職に必要な知識・
技術を習得し、資格取得を目
指します。

▼内容
Word・Excel・P
owerPointを基礎か
ら学び、就職に必要な知識・
技術を習得し、資格取得を目
指します。

▼募集期間
9月25日(火)
▼受講対象
身体(聴覚・上肢・下肢・
内部)、精神、発達、難病、
高次脳機能の障がいのある方
▼定員
8人

障がいのある方を対象とした
職業訓練(障がい者委託訓
練)の受講生を募集していま
す。
受講料は無料です。詳しく
はお問い合せください。

▼募集期間
9月28日(金)
▼訓練期間
11月1日(木)～平成31年
1月31日(木)(3カ月間)

県では9月を「熊本県動物
愛護月間」と定めています。
動物に対する向き合い方を
見つめ直してみましよう。ま
た、県内の各保健所では、動
物愛護や適性飼養をテーマと
したイベントを開催します。
詳しくは、保健所までお問
い合せください。

9月は動物愛護月間です
県では9月を「熊本県動物
愛護月間」と定めています。
動物に対する向き合い方を
見つめ直してみましよう。ま
た、県内の各保健所では、動
物愛護や適性飼養をテーマと
したイベントを開催します。
詳しくは、保健所までお問
い合せください。

▼経費
テキスト代8,490円
(税込み)程度
▼訓練場所
株式会社総合プラント内
▼申し込み・問い合せ先
県立高等技術専門学校
☎096-297-9915
ハローワーク上益城
☎096-282-0077

お問い合わせ先
御船保健所
☎096-282-0016

お知らせ

くらし安全

9月11日は「警察相談の日」

警察では、防犯や交通に関
すること、暴力団などに関す
ること、子どもの非行や家庭
内暴力に関する事、ストー
カー・DVに関する事、振
り込め詐欺に関する事、事
件や事故に関する事など、
悩みや不安を感じている方々
のご相談に応じています。
警察安全相談室への相談電
話は、「096-383-9
110」へおかけください。

お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)
☎096-232-1110

町生涯学習センター・ギャラリーモール展示のお知らせ ～9月～

- 「木の工芸品展示」
▶期間 9月2日(日)～15日(土)
▶主催 西川純二氏(上揚区)
- 「福祉と自然の写真展」
▶期間 9月17日(月)～29日(土)
▶主催 自然観察くまもと写真部

●お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447



8月3日(金)町生涯学習センターで開催された「ハローBaby!」に参加した甲佐中生徒と「ピカピカ1歳教室」に参加した皆さん

うたごよみ ー 長月 ー

【短歌】

渡辺幸士 選

暑さゆえ涼を求めて我が猫はどこにいるやら
姿も見せぬ 緒方 明美

猛暑なる日々は続きて畑の草気にはなれども
命は惜しい 塚原 暁益

津留川の辺に在りし吾が里の岸边に優しい合
飲の花咲く 池田キヨ子

暑い日の蝉や蛙の合唱を独り身の吾しみじみ
と聞く 赤星 文子

来ればまた可愛さゆえに抱き寄せて嫌がる孫
に頼り寄せる 白梅 武人

若くして農家に嫁ぎし姪っ子の汗と努力の新
米届く 内田乃武子

西寄りて異例なコースの台風は又も災害新し
くする 吉永由紀子

夏まつり花火上がりし大空を吾が家の庭で眺
め楽しむ 上村やす美

亡父のあと迎のごとくに老い進む「真似はす
るな」と遺影が笑う 渡辺 幸士

【川柳】

渡辺幸士 選

【同情】

政変で国を追われる人哀れ 林 雅之
檻の中猿も自由が欲しかろう 日隈 俊郎
突然の出会い同情などはない 小川 春子

【どうぞ】

新メニュー「どうぞ」笑顔で試食会 川田トメ子
またどうぞお愛想顔で主人言う 清川みどり
さあどうぞこんな荒れ手でよかつたら 渡辺 幸士

【肥後狂句】

北川直美 選

若者が コーチと共に耐えた日々 広田みどり
若者が 駆け出して行く災害地 下山 千恵
若者が 浴衣姿で盆おどり 志垣 光
若者が しっかりしとる見直した 佐藤 葵
若者が 飯食つとるかそのさまは 平井やよい
若者が 学成り難し地で行かす 長原 産賀
若者が 遊び相手はスマホかい 佐野しょう
若者が 村の活力任せられ 光永 六
若者が 国の借金背負わされ 井元あざみ
若者が 祖母の介護にのりだした 日高 美里
若者が 一気飲みして酔いつぶれ 上田 梅清
若者が 財産管理うわんそら 日隈 元良
若者が 祭り継承委ねられ 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447 (内線321)

ひとの動き (敬称略)

7月11日(水)～8月10日(金)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
緑町	伊佐 将惺	男	翼
白旗	渡邊 隼史	男	和 樹
横田	上野 律夏	女	将 司
豊内	甲斐しおり	女	春 男
有安	緒方 優	男	賢治郎

marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
夫	宇土市	川村 翼
妻	岩下	本田 樹理
夫	熊本市	出口 冬馬
妻	中横田	狩野 萌

condolence お悔やみ申し上げます

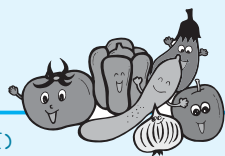
住所	氏名	年齢	世帯主
上揚	山下 光子	93	光子
上揚	増田 君江	84	君江
田口	坂本 公代	59	敏 博
糸田	本郷 忠義	73	祐 子
有安	西村 昭子	90	潮 己
仁田子	福岡百合子	94	大 輔
下横田	内嶋 節子	76	睦 臣

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,065	2
女	5,642	3
計	10,707	5
世帯数	4,270	△ 2

平成30年7月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



チンゲン菜のスタミナ炒め

ご存知ですか？

チンゲン菜は、野菜なのに「カルシウム」が含まれているってご存知ですか？

「カルシウム」は骨や歯を丈夫にしてくれるだけでなく、イライラやストレスを静めてくれるとっても大切な栄養なのです。

また、チンゲン菜に含まれる「β-カロテン」は体内で必要な分だけ「ビタミンA」に変化します。夜目が利かない・ドライアイで辛い・パソコン等で目が疲れるといった症状の人達に特に食べてもらいたい野菜です。

美味しく食べて健康維持を心がけましょう。



作り方

- ①チンゲン菜は横半分に切る。茎の部分は縦に切り、食べやすい大きさに切りそろえましょう。
- ②ニンジンも千切りにします。
- ③ニンニクは薄皮をむき薄切り。
- ④フライパンにゴマ油を入れ熱したら③のニンニクをきつね色まで炒め、そこへ②のニンジンを加えしんなりするまで炒めましょう。
- ⑤次に火が通りにくいチンゲン菜の茎の部分を炒め、しんなりしたら葉を加えます。
- ⑥⑤の全体に塩を振りしばらく炒めたら酒を振り入れ、水気を飛ばすように強火で炒め仕上げます
- ⑦最後に好みで加減しながらコショウを振ってください。

材 料

チンゲン菜	4株
ニンジン	1本
ニンニク	2片
ゴマ油	大さじ1.5
酒	大さじ2
塩	小さじ1/2
コショウ	少々

いくつかの台風が通り過ぎ、季節は残暑厳しい夏から涼風心地良い秋へ少しずつ変わりつつあるようです。気候がよくなるこれからの季節は運動するのに最適です。そんなスポーツの秋を前に、この夏、多くの大会で活躍した甲佐の若者たちがいます。今月号では、そんな彼らを先月に引き続き紹介しています。広報紙で取り上げるにあたって、選手の皆さんには大会の感想などをお聞きしました。「もっと練習して上手になりたい」「引退を控えて、今後何をしたいか考えたい」「支えてくれる家族への感謝を忘れず、結果で恩返ししたい」といった声が聞かれ、すでに次の準備が始まっていることを感じました。すべてをご紹介することはできませんでしたが、お答えいただいた選手の皆さん、ご協力ありがとうございました。(ト)

編集後記



プレストン・サングスターさん
Preston Sangster

〔岩下一区〕

エリン・サングスターさん
Erin Sangster

〔岩下一区〕

サングスター夫妻 / 外国語指導助手。平成28年8月に着任。町内の小・中学生に英語をわかりやすく教えている。手作りの英語コーナーは子どもたちからも人気。

発音や文法を恐れなくて 英会話を一緒に楽しもう

「授業だけでなく、教室の外でも、子どもたちとコミュニケーションを取る機会を作っています。たくさん話し掛けてください」と話すのは、プレストンさんとエリンさんのサングスター夫妻。プレス

トンさんは町内中学校の外国語指導助手（ALT）として教壇に立ち、小学校で活動するエリンさんとともに本町の英語教育に携わっている。

2人はアメリカのテネシー州出身。「甲佐は山々が近く、

人が温かいところが故郷と似ている」と語る。本町に来て始めた空手や、町農業研修センター「ろくじ館」での英会話教室を通して、日本での生活と交流を楽しんでいる。

「子どもたちとの会話が楽しい」と話す2人は「授業を重ねるうちに、教室の外でも話し掛けてくれるようになりました。休日に出会ったときを声を掛けてくれるなど、積

極的に英語に挑戦する子どもたちが育っています」と喜びを感じている。

授業以外にも交流して英語力を高める機会を増やすために、各校に手作り英語コーナーを制作。写真やイラストを使って英語を掲示し、普段の生活の中で英語に親しんでもらえるよう工夫を凝らす。手紙の受付ポストも設けてすべてに返事を2人でいていねいに書く。

「小学生はみんな身近なものを持って来て英語で何というのか質問してきます。反対に、私も子どもたちから、かくれんぼなど日本の遊びをたくさん教わりました」とエリンさん。プレストンさんは「中学生は、授業で学んだ単語でやり取りができるので楽しいです。給食を一緒に食べながら、学校のことやアメリカや日本のことなどを話したりします」と心を弾ませる。「完璧な英語じゃなくてもいいので、間違いを怖がらないでどんどん話し掛けてみてください」と、2人は英語から広がる世界と未来を指差す。

広報 こうさ

2018年（平成30年）9月号
通巻590号